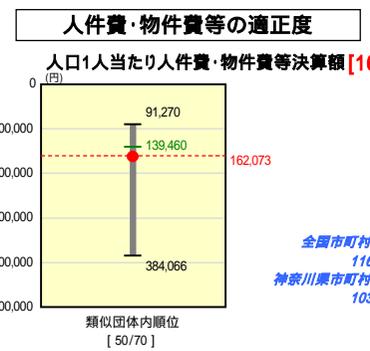
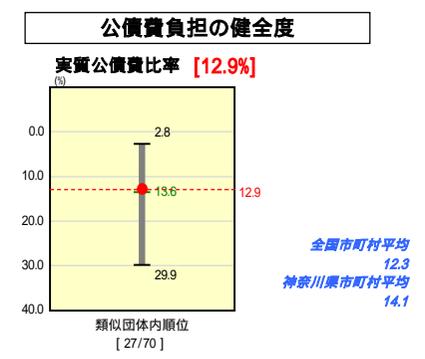
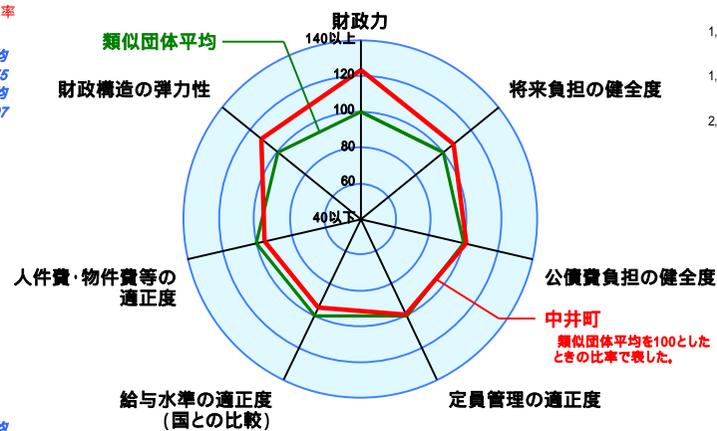
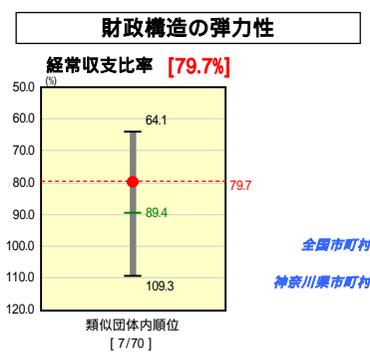
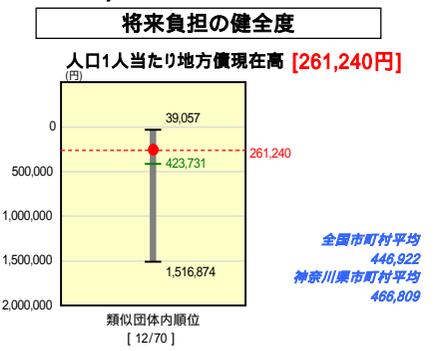
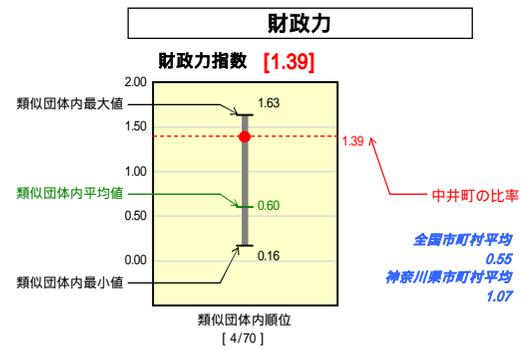


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

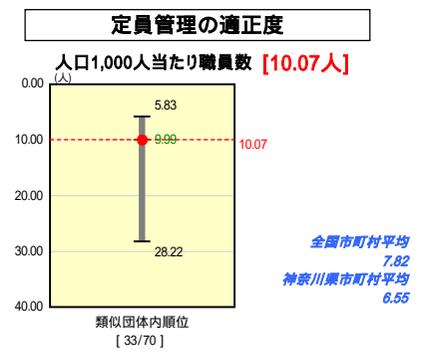
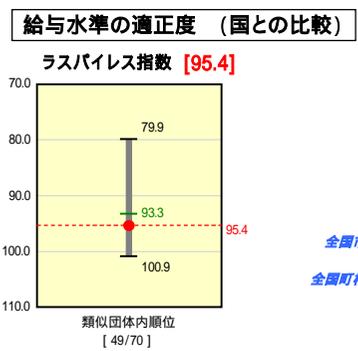
神奈川県 中井町

人口	9,930	人(H20.3.31現在)
面積	20.02	km ²
歳入総額	4,481,378	千円
歳出総額	4,133,639	千円
実質収支	347,739	千円



給与水準の適正度 (国との比較)

類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
 平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
 ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】 町内企業の好調な業績による法人町民税や社屋・償却資産の固定資産税といった安定的な税収があることから、1.0を上回り、普通交付税不交付団体となっている。また、類似団体平均と比較しても0.79高い1.39となっている。しかしながら、平成18年度、19年度と2年連続で数値が下がっているため、今後は、安定的な税収の確保や歳出の削減に努めていく。

【経常収支比率】 歳出比較分析表を参照。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】 物件費における賃金や維持補修費の伸びにより、類似団体平均と比較して人件費・物件費等決算額が22,613円高くなっている。今後は、更なる需用費等のマイナスシーリングや、集中改革プランに掲げた施策を着実に実行し、経費の抑制に努める。

【人口1人当たり地方債現在高】 平成19年度は普通建設事業債の起債があったものの、償還が終了したものがこれを上回った結果、対前年度比18,754円の減となっており、類似団体平均と比較して低い水準にある。今後も減少傾向が続くものと思われるが、引き続き将来に大きな負担とならないよう、事業を的確に見極め、起債の抑制等に努める。

【実質公債費比率】 下水道事業債償還に係る下水道事業特別会計への繰入金や中井中央公園建設債の償還があったものの、類似団体平均値より0.7%低い12.9%にとどまっている。一般会計においては償還のピークを過ぎており、今後は減少傾向にあるが、景気後退による減収が今後見込まれるため、臨時財政対策債等の起債を余儀なくされる事態が想定される。よって、普通建設事業債においては、緊急度や住民ニーズを的確に把握した事業の選択等により、最小限の起債にとどめられるような財政運営に努める。

【人口1,000人当たり職員数】 職員定員適正化計画に基づき新規採用を抑制し、また、退職不補充等を行うなど、職員の削減に努めているものの、前年度と比較して数値は増加しており、類似団体平均をわずかに上回っている。今後も計画的に職員数の削減を図るとともに、適正な職員年齢構成に資するため、勤奨退職制度の導入等により適正化に努める。

【ラスパイレス指数】 職員の経験年数階層の変動により平成18年度においては前年度を上回り、また、旧来からの給与体系により類似団体平均を2.1上回っている。今後は、人事評価制度の導入等により、引き続き給与の適正化に努める。